

## 学長定例記者会見要項

日 時： 令和元年7月4日（木） 11：00～11：45

場 所： 法人本部第二会議室（小白川キャンパス法人本部棟4階）

### 発表事項

1. ベトナムに同窓会を設立～ 留学生獲得に向け、ネットワークを強化 ～
2. 川の流れを学ぼう！子ども達へのデモ方法を学生が開発中  
～ 理学部「サイエンスコミュニケータープログラム」から ～
3. 地域活性化へ 神社に有機EL照明を導入  
～ 参道を照らす やわらかい光で社会実装実験を開始 ～
4. 「トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム」に9名採用
5. 米沢市で初開催！地域指向性向上プロジェクトの観覧募集  
～ 第12回山形大学高校生朗読コンクール／群読劇「銀河鉄道の夜」～
6. 第47回公演に向けて活動を加速、模擬裁判実行委員会

### お知らせ

1. OSHINのふるさとでインドネシアの留学生が農業を学びます  
～さくらサイエンスプラン2019年度第1回採択事業～
2. “日本物理学会 市民科学講演会”を開催します  
～どこまでわかっているの？スーパーサイエンティストに聞く最新の宇宙の姿～
3. やまがた夜話の開催について

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見（予定）

日 時：令和元年7月25日（木） 11：00～11：45

場 所：法人本部第二会議室（小白川キャンパス法人本部棟4階）

## 学長定例記者会見（7月4日）発表者

### 1. ベトナムに同窓会を設立～ 留学生獲得に向け、ネットワークを強化 ～

理事・副学長 やすだ ひろのり  
安田 弘法

### 2. 川の流れを学ぼう！子ども達へのデモ方法を学生が開発中 ～理学部「サイエンスコミュニケータープログラム」から～

理学部	3年	まつもと	まい
		松本	真依
	//	ごとう	はやて
		後藤	颯
	//	こしさか	ま ゆ
		越坂	真優
	//	たかはし	みさき
		高橋	美咲
	//	さたけ	る み
		佐竹	留美

### 3. 地域活性化へ 神社に有機 EL 照明を導入 ～ 参道を照らすやわらかい光で社会実装実験を開始 ～

学術研究院教授（有機エレクトロニクス）	きど	じゅんじ
	城戸	淳二
やすみ	たかはし	やすし
八角 神社 宮司	高橋	徳

### 4. 「トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム」に9名採用

理工学研究科博士後期課程 物質科学工学専攻1年  
(フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院) ひらい ゆうじ  
平井 裕士

### 5. 米沢市で初開催！地域指向性向上プロジェクトの観覧募集 ～第12回山形大学高校生朗読コンクール／群読劇「銀河鉄道の夜」～

学術研究院 教授（日本文学）	やまもと	はるふみ
	山本	陽史
理学部	かそう	たかと
3年	加相	高人
人文社会科学部	つばい	そうた
1年	坪井	颯汰

### 6. 第47回公演に向けて活動を加速、模擬裁判実行委員会

第47代模擬裁判実行委員会委員長 こばやし ゆうすけ  
小林 優恭

令和元年（2019年）7月4日

## ベトナムに同窓会を設立 ～留学生獲得に向け、ネットワークを強化～

### 【本件のポイント】

- 海外における元留学生同士並びに本学とのネットワーク強化のため、ベトナムに「山形大学ベトナム同窓会」を設立
- 本学において、海外での同窓会設立はマレーシア（2017年4月設立）、インドネシア（2018年10月設立）に続き3例目
- 母国へ帰国した留学生同士の交流や、本学とのネットワーク強化によって、優秀な留学生の受入れ増大などの効果が期待される



### 【概要】

2019年6月30日、ベトナムの国家農業大学において、「山形大学ベトナム留学生同窓会」を設立しました。設立総会には、安田弘法理事をはじめ本学教職員、来賓、山形大学元留学生30名が出席。入会者数は29名で、海外での同窓会の立ち上げは本学ではマレーシア、インドネシアに次ぐ3例目のものです。

山形大学は、「地域創生」「次世代形成」「多文化共生」という3つの使命と5つの基本理念に基づき、学生・教職員・地域の国際化の推進をビジョンの1つとしています。その取り組みの一つとして、平成28年(2016年)度から、元留学生とのネットワークづくりの強化に努めてきました。実際に、短期留学生として受け入れた学生が、後に本学の大学院に進学している例もあり、この度の海外同窓会設立により、本学と元留学生のネットワーク強化による、優秀な留学生の受入が期待されます。

### 【背景】

山形大学は、「地域創生」「次世代形成」「多文化共生」を使命とし、5つの基本理念に沿って、教育、研究及び地域貢献に取り組み、地域変革のエンジンとして存在感のある大学を目指しています。第三期中期目標のビジョンの一つには、「学生・教職員・地域の国際化の推進」を掲げて、先に発表したダブル・ディグリー制度の導入など、多面的な国際化を図るための施策を推進しています。

### 【海外留学生同窓会の設立状況】

2017年4月22日 山形大学マレーシア同窓会設立

2018年10月7日 山形大学インドネシア同窓会設立

2019年6月30日 山形大学ベトナム同窓会設立

### 【今後の展望】

本学で学んだ元留学生との継続的な交流を維持し、今後の更なる連携を強化していくことで、優秀な留学生の受入れ増大につなげたいと考えています。また、留学生ネットワークを活かして、海外インターンシップ受け入れ企業の開拓、さらには、元留学生による本県へのインバウンド観光や情報発信など、地域創生につながることも期待されます。

本学としては、令和2年度までにさらに2か国程度を対象に海外留学生同窓会の設置に取り組みます。

<参考>ベトナムからの留学生数推移

2019年 8名（正規生8人、非正規生0人）

2018年 8名（正規生7人、非正規生1人）

2017年 9名（正規生9人、非正規生0人）

お問い合わせ

山形大学教育・学生支援部国際交流課 今野・三浦  
TEL 023-628-4118/FAX 023-628-4491

令和元年（2019年）7月4日

## 川の流れを学ぼう！子ども達へのデモ方法を学生が開発中 ～理学部「サイエンスコミュニケータープログラム」から～

### 【本件のポイント】

- 水の流れについてのシミュレーションができる装置を活用して、学生が子ども達へ川の流れや防災を学ぶデモンストレーションの方法を開発。
- 理学部で平成30年(2018年)度から実施している新たな履修プログラムのひとつ「サイエンスコミュニケータープログラム」における取り組みの一環。
- 7月14日に仙台市で行われるイベントに出展し子ども達に披露。



### 【概要】

理学部のサイエンスコミュニケータープログラムを履修する学生達が子ども達へ川の流れや防災を学ぶデモンストレーションの方法を開発しています。リトルリバー・リサーチ&デザインジャパン社の協力を得て、同社の川の流れを再現できる装置（エムリバージオモデル）を使って、どのように水が流れるか、災害はどのようにして起きるのか等を子ども達にわかりやすく伝える方法を授業で検討しています。学生達が開発したデモンストレーション方法は、7月14日(日)に仙台市で開催されるサイエンス・デイで、多くの子ども達に披露される予定です。

理学部では、学生が自分の卒業後の進路に明確なビジョンを持って、目指す進路に適した方法で専門科目を履修する学習プランを導入しており、3つの履修プログラム（スタンダード、フロンティア、サイエンスコミュニケーター）から1つを学生が選んで受講します。平成29年(2017年)の学部改組に伴い導入した新しい教育システムで、2年次生を対象に平成30年(2018年)からスタートしました。サイエンスコミュニケータープログラムは、地域の教育活動に積極的に参加する意欲を持ち、理科・数学の実践的な教育技能を有する人材を育成することを目指しています。

### 【サイエンスコミュニケータープログラムについて】

幅広い理学の基礎知識と課題解決能力、科学の専門的内容とその社会的意義を人々にわかりやすく伝える能力、実践的な教育力を身に付けます。

≪養成する人材像≫地域の教育活動に積極的に参加する意欲を持ち、理科・数学の実践的な教育技能を有する人材  
≪進路・将来像≫教員、学芸員、学術・教育サービス、出版・メディア関連業種など

### 【開発中のデモンストレーション方法について】

一回の説明を20分程度として、川の流れ、堆積作用、浸食作用の基本的説明、集中豪雨のときの川の様子、予想される危険から防災を考えます。また、ダムや川の決壊が起きる様子を再現するほか、実際の写真を見せて、比較するなど説明方法も工夫します。

### 【今後の予定】

- 7月4日(木) 開発中のデモンストレーション紹介（12:00～SCITAセンターで実施）
- 7月10日(水) 実施に向けての最終点検
- 7月14日(日) 学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ2019（会場：東北大学川内北キャンパス）で披露
- 7月28日(日) 青少年の科学の祭典山形大会 ブース出展

#### お問い合わせ

学術研究院 教授 栗山恭直（理学部担当）

TEL 023-628-4506 メール kuriyama@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

リトルリバー・リサーチ&デザイン ジャパン社

代表 松本明代

TEL 070-5252-2941 メール akiyo.lrrd@gmail.com

令和元年（2019年）7月4日

## 地域活性化へ 神社に有機EL照明を導入 ～ 参道を照らすやわらかい光で社会実装実験を開始 ～

### 【本件のポイント】

- 老朽化の修復を進める福島県会津若松市・八角神社（やすみじんじゃ）の参道に有機EL照明を設置、本学の城戸淳二教授が導入を支援
- 有機EL照明独自のやわらかい光で参道を照らし、地域活性化に向けた新たな魅力を創出、研究成果の社会実装実験も担うスポットに
- 点灯식을7月7日(日)に開催、「神社×有機EL」の新たな可能性をお披露目



### 【概要】

山形大学学術研究院の城戸淳二教授（有機エレクトロニクス）は、福島県会津若松市・八角神社（やすみじんじゃ）へ協力を行い、神社の参道を照らす有機EL照明が設置されることとなりました。

807年に創建された八角神社は、過去に宮司不在の期間などもあり老朽化が進んでいましたが、修復を進める中で「夜でも参道を明るく」「地域の活性化を担うスポットに」という点の実現に向けて、やわらかい独特の光で新しい照明として注目される有機EL照明の導入が決まりました。本件は、本学が拠点の一つとなって推進中のセンター・オブ・イノベーションプログラム（COI）の社会実装実験としての役割も担っています。

### 【協力と設置実現までの背景】

しばらく不在であった八角神社の宮司として、2年前に米沢市 春日 熊野神社宮司の高橋徳（やすし）氏が赴任し、本殿をはじめ鳥居などの老朽化の修復が進められてきました。

特に夜の境内は暗く寂しく、お参りしづらいという印象を持った宮司らが参道に明かりをつけてみたいと考えたことをきっかけに、有機EL照明を設置する今回の企画が持ち上がり、このたび福島県会津若松市、山形県米沢市、山形大学が連携して設置することに至りました。

### 【八角神社参道の点灯式（照明のお披露目）】

- ▷ 日時：令和元年 7月7日(日) 17:00～18:30
- ▷ 会場：八角神社（福島県会津若松市宮町 4-50）
- ▷ 出席者：高橋徳（やすし）氏（八角神社 宮司） 室井照平氏（会津若松市長）、中川勝氏（米沢市長）、城戸淳二教授（山形大学） ほか 関係者 ※順不同
- ▷ 点灯式概要：両市長による照明点灯セレモニー、出席者による報道機関向けの記者会見を予定しています。
- ▷ 主催：八角神社奉賛会

### ※用語解説

- ・**有機 EL 照明**：発光性の有機材料に電気を流して発光させる照明。太陽光に近い光で自然な見え方がする。
- ・**センター・オブ・イノベーション（COI）プログラム**：  
10年後の目指すべき社会像を見据えたビジョン主導型のチャレンジング・ハイリスクな研究開発を最長で9年度支援する、科学技術振興機構（JST）によるプログラムです。

お問い合わせ 山形大学 COI 研究推進機構（矢萩）  
TEL 0238-26-3585 メール coi@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

令和元年（2019年）7月4日

## 「トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム」に9名採用

### 【本件のポイント】

- 官民協働で取り組む海外留学支援制度「トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム」の第11期派遣留学生が決定し、本学から9名の学生が採用
- 理系、複合・融合系人材コースには過去最多の4名、地域人材コースに5名が決定
- これまでに同プログラムに採用された学生の合計（1期～11期）は39名で、東北地区では東北大学に次いで2番目



### 【概要】

2014年度から文部科学省が実施している官民協働海外留学支援制度「トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム」の第11期派遣留学生が決定し、本学から9名が採用されました。このプログラムは、文部科学省との連携及び企業からの支援により、“産業界を中心に社会で求められる人材”、“世界で、又は世界を視野に入れて活躍できる人材”の育成という観点から学生を募集し、留学を支援するもので、①理系、複合・融合系人材コース、②未来テクノロジー人材枠、③新興国コース、④世界トップレベル大学等コース、⑤多様性人材コース、⑥地域人材コースの6つのコースがあります。今回、山形大学からは、①理系、複合・融合系人材コースに過去最多の4名が採用されました。（コース全体では応募者521人のうち166人が採用）

また、⑥地域人材コースとして、山形県や県内高等教育機関と地元企業が連携して実施する「やまがたの未来を切り開くグローバル人材育成プログラム」では、本学学生5名を含む11名の採用が決定しました。

採用された学生達は、今後、事前研修を受けた後、採用された留学計画に基づき、本年8月から留学を行う予定です。

### 【理系、複合・融合系人材コース】

理系分野、複合・融合系分野における学修やインターンシップ、フィールドワーク、実験・実習等の実践活動を行う留学を支援します。環境・エネルギー分野、ライフサイエンス分野、情報通信技術分野、農林水産分野、ものづくり分野において新産業創出につながるような取組や実践活動を行い、産業界を中心に活躍する意欲のある学生の留学を支援します。

採用された本学の学生は、理工学研究科と有機材料システム研究科で学ぶ大学院生3名、農学研究科の大学院生1名で、それぞれドイツ、中国、インドネシアでの留学を予定しています。

### 【地域人材コース「やまがたの未来を切り開くグローバル人材育成プログラム」】

山形県内高等教育機関（山形大学・鶴岡工業高等専門学校・東北文教大学）、地元企業・団体（23社）、山形県の産官学が一体となり、実践的な海外インターンシップと、その前後に県内企業などで行うインターンシップを組み合わせる3つのインターンシップを実施します。国際的な視野を持って地域の問題をとらえることができる「高度グローバル人材」の育成を目指すものです。

今年度は、山形大学5名、鶴岡工業高等専門学校3名、東北文教大学3名の計11名が採用となりました。

### 【支援の概要】

- ・ 諸外国への留学に必要な経費の一部を奨学金等として支給（返済不要の給付型奨学金）
- ・ 留学経験の質を高めるため、留学の前後に研修を提供
- ・ 留学後の継続的な学習や交流の場としての留学生のネットワークの提供

お問い合わせ

教育・学生支援部 国際交流課（三浦・須藤）

TEL 023-628-4017

令和元年（2019年）7月4日

## 米沢市で初開催！地域指向性向上プロジェクトの観覧募集

～第12回山形大学高校生朗読コンクール／群読劇「銀河鉄道の夜」～

### 【本件のポイント】

- 第12回山形大学高校生朗読コンクール及び群読劇「銀河鉄道の夜」の観覧の申込受付を開始します。
- 平成24年から朗読コンクール・群読劇の2部開催になって以来、米沢市での開催は初めてです（会場：伝国の杜 置賜文化ホール）。
- 群読劇は、基盤共通教育の授業「舞台をつくる2019」の一環として山形大学生が企画・運営し、俳優の磯部勉さんをはじめ、一般参加の市民の皆さまとともに舞台を創り上げます。



### 【概要】

山形大学は、「山形大学地域指向性向上プロジェクト」として第12回山形大学高校生朗読コンクール及び群読劇「銀河鉄道の夜」を、9月16日（月・祝）に伝国の杜 置賜文化ホール（米沢市）で開催します。

高校生朗読コンクールは、平成20年度から東北6県在住の高校生を対象に開催しており、今年度は岩手県出身の宮沢賢治の永遠の名作「風の又三郎」を課題文として取り上げました。予選審査を通過した高校生が、課題文をリレーで朗読する姿は圧巻です。今年度は、64名の高校生の応募がありました。現在、山形大学教員で構成する予選審査委員会による、本選出場者の審査を行っております。

群読劇は、山形大学の基盤共通教育の授業「舞台をつくる2019」（担当：学術研究院教授 山本陽史）の一環として山形大学生が企画・運営するもので、酒田市出身の演出家佐藤正文さんの指導のもと、一般参加の市民の皆さまとともに、宮沢賢治著「銀河鉄道の夜」の朗読劇を創り上げます。俳優の磯部勉さん、世古峻佑さんによる迫真の演技も見どころです。

### 【開催要項】

日時：令和元年9月16日（月・祝）13時30分～17時00分  
会場：伝国の杜 置賜文化ホール（山形県米沢市丸の内一丁目2番1号）  
入場料：無料（事前の入場申込をお願いします。）

#### 第1部 第12回山形大学高校生朗読コンクール

課題文：宮沢賢治著「風の又三郎」  
出場者：予選審査を通過した高校生10名程度が出場

#### 第2部 群読劇「銀河鉄道の夜」

上演作品：宮沢賢治著「銀河鉄道の夜」  
出演：磯部 勉 氏（俳優）、世古 峻佑 氏（俳優）、山形大学生及び一般参加者の総勢40名程度

### 【申込方法】

下記の申込先に、電話、ファクス又はEメールの方法にてお申込みください。

必要事項：1. 来場者ご氏名（よみがな） 2. 電話番号  
※複数名でご来場される場合は、来場者全員のご氏名と代表者の電話番号をお知らせください。  
（申込受付の締切：9月12日（木）17：00まで）

申込/問合せ先 山形大学エンロールメント・マネジメント部社会連携課  
電話：023-628-4844（平日9時～16時）  
ファクス：023-628-4144  
Eメール：embml@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

Eメールでのお申込みは  
↓↓ こちらから ↓↓



令和元年（2019年）7月 4日

## 第47回公演に向けて活動を加速 模擬裁判実行委員会 ～ 司法を身近に 関心を持ってもらえるように ～

### 【本件のポイント】

- 人文社会科学部を中心とした学生の自主ゼミとして40年以上続いているもので、企画、脚本、演出まで学生が担当しています
- 11月の裁判劇公演本番に向けて、裁判所や検察などの専門家の協力のもと、現在シナリオ作成など準備中です
- 1年生から3年生約130人が参加し、1年がかりで作上げる公演の本番だけでなく、その取り組みにもご注目ください



### 【概要】

山形大学模擬裁判実行委員会は、年に1度「模擬裁判」という裁判劇の公演を行い、研究成果を発表しています。47年目となる今年は「裁判における判決」をテーマに、求刑や量刑を題材として公演します。また、今年2019年は裁判員制度導入から10年目を迎えた節目の年です。裁判員の役割や負担についてイメージが持ちにくいですが、少しでも身近に司法や制度のことを知ってもらえるよう、公演に取り込んでいることも今年の特徴です。公演本番に向け、裁判所や検察など専門家に協力を仰ぎながらシナリオ作成などに取り組んでいます。そのプロセスもぜひ多くの方々に知っていただけますと嬉しいです。

### 【模擬裁判とは】

山形大学模擬裁判実行委員会とは、山形大学の1～3年生約130名で構成される学生の自主ゼミです。年に一度の模擬裁判という裁判劇の公演で研究成果を発表しています。裁判劇を市民の皆様にご覧いただくことで、司法を身近に感じ、時代が抱える社会問題について考えていただくきっかけを作ることを目的としています。

### 【今年のテーマは「裁判における判決」「裁判員制度」】

求刑や量刑など刑の重さに注目が集まりがちですが、動機や背景など多様な事情が刑の判断には考慮されています。世論と判決の関係性に注目するとともに、今年導入10年目を迎えた裁判員制度にも触れることで、市民の方々に司法を身近に考えていただくきっかけを、劇を通してお伝えしたいと考えています。公演は11月に山形市内で開催予定です。

### 【公演までの取り組み】

シナリオやパンフレット作成、劇のリハーサルなど日々準備を進めています。下記の日程で行う準備や練習を報道機関の皆様に向けた公開活動とさせていただきますので、ご関心がありましたらぜひお越しください。

- ・7月17日(水) 16:30～ 模擬裁判実行委員会 定例会（全体でシナリオの勉強会をします）  
【山形大学小白川キャンパス 人文社会科学部1号館1階 103教室】
- ・9月中旬 キャストの本格的な練習開始【小白川キャンパス内】

※予定は変更になる場合があります。事前に下記宛先までご連絡いただけますと幸いです。

お問い合わせ

山形大学模擬裁判実行委員会 委員長 小林優恭（こばやしゆうすけ）

メール：yuu0710165@docomo.ne.jp

令和元年(2019年)7月4日

山形大学

\* 詳細は別添の資料をご覧ください。

## 1. OSHINのふるさとでインドネシアの留学生が農業を学びます ～さくらサイエンスプラン2019年度第1回採択事業～

科学技術振興機構（JST）が実施する「日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）」2019年度公募・第1回審査において、本学の交流計画が採択されました。プログラムでは、「OSHINのふるさと山形から考える世界の環境保全と持続可能な農業」をテーマに、8月1日から8月7日までの7日間、インドネシアの2大学から合計15名の学生・教員を招聘します。

## 2. “日本物理学会 市民科学講演会”を開催します ～どこまでわかっているの？スーパーサイエンティストに聞く最新の宇宙の姿～

9月に小白川キャンパスで開催される日本物理学会（秋季大会）にあわせて、一般向けに講演会を開催します。第一線の物理学者が最新の宇宙の姿についてわかりやすく解説します。

日時：9月21日（土）13:00～15:40

会場：山形テルサ テルサホール

対象：一般市民、中学生、高校生、大学生

## 3. やまがた夜話の開催について

大学コンソーシアムやまがたでは、それぞれの得意分野で活躍している第一人者の方からお話ししていただく「やまがた夜話」を開催しています。

8～9月のテーマは「“月山”に学び、地域を知るV」。八木浩司教授をはじめ、4人の月山マイスターが、様々な角度から月山の魅力に迫ります。

## ※これまでの定例会見でお知らせしたもので、開催が迫っているイベント

### ◎ 第15回学長特別講演会「観光立国日本、地方が日本を引っ張る時代」を開催

山形大学の3つの使命「地域創生」「次世代形成」「多文化共生」を発信するため、シリーズで開催している学長特別講演会の第15回目の開催が決定しました。今回は、講師に観光庁の田口芳郎参事官をお迎えします。

テーマ：観光立国日本、地方が日本を引っ張る時代

日時：7月8日(月)16:30～18:00

場所：山形大学小白川キャンパス C1（人文社会科学部1号館）301

令和元年（2019年）7月4日

## OSHINのふるさとでインドネシアの留学生が農業を学びます ～さくらサイエンスプラン2019年度第1回採択事業～

### 【本件のポイント】

- 科学技術振興機構（JST）が実施する「日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）」2019年度公募・第1回審査において本学の提案した交流計画が採択
- インドネシアから15名の学生・教員を招聘し、世界の環境保全と持続可能な農業について考えるプログラムを鶴岡市で実施
- 今回の採択は184件（申請件数は230件）



### 【概要】

科学技術振興機構（JST）が実施する「日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）」2019年度公募・第1回審査において、本学の提案した交流計画が採択されました。プログラムでは、「OSHINのふるさと山形から考える世界の環境保全と持続可能な農業」をテーマに、8月1日から8月7日までの7日間、インドネシアのパジャジャラン大学、モハメディアン大学ジョグジャカルタ校の2大学から合計15名の学生・教員を招聘します。アジア圏の主食であるコメは、その生産性の追求に伴う環境への負荷が各国で問題になっています。山形大学農学部では、かねてから自然共生型水稻栽培法の研究に取り組んでおり、世界でも類を見ない技術や知見があります。そのほか、山形大学農学部で進めている環境保全型農法に係る研究を紹介し、先端的な科学技術への関心を高め、学術交流により環境保全型農業技術の新たなイノベーションにも貢献したい考えです。また、庄内地方や山形県の豊かな自然や文化に触れることで、将来的に山形大学への留学に繋がったり、国際交流のさらなる発展に繋がることを目指します。

### 【交流計画の内容】

テーマ：「OSHINのふるさと山形から考える世界の環境保全と持続可能な農業」

プログラム：

- ・8月1日（木）オリエンテーション
- ・8月2日（金）環境保全型農法に関する講義
- ・8月3日（土）環境保全型農法に関する講義
- ・8月4日（日）ホストファミリーとの交流
- ・8月5日（月）環境保全型農法に関する講義、フィールドワーク
- ・8月6日（火）「環境保全型農法と私たちの未来」をテーマとしたワークショップ等
- ・8月7日（水）実習レポート作成、成果報告会

<参考>今回招聘するインドネシアの2大学と山形大学とは学術交流協定を締結しています。

パジャジャラン大学：西部ジャワの高原都市バンドンに所在。16学部で4万人が学ぶ国内最大規模の総合大学。

欧米諸国をはじめ東京大学など多くの日本の大学とも交流協定を締結している。

モハメディアン大学ジョグジャカルタ校：中部ジャワのジョグジャカルタに所在。8学部で2万7千人が在籍する総合大学。海外との交流に熱心で160校との交流協定を持ち、京都大学など多くの日本の大学や企業と交流がある。

お問い合わせ

学術研究院 准教授 佐藤 智（農学部担当）

TEL 0235-28-2863 メール satorus@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

令和元年（2019年）7月4日

## “日本物理学会 市民科学講演会”を開催します ～どこまでわかっているの？スーパーサイエンティストに聞く最新の宇宙の姿～

### 【本件のポイント】

- 2019年9月21日（土）に日本物理学会主催の市民科学講演会を山形テルサにて開催します。
- 井岡邦仁教授（京都大学）と兼村晋哉教授（大阪大学）をお招きして、現在明らかになっている最新の宇宙の姿についてわかりやすく解説していただきます。
- 対象は中学・高校・大学生・一般市民向けです。



### 【概要】

2019年9月17日～20日に山形大学小白川キャンパスで開催される日本物理学会（秋季大会）にあわせて、中学生・高校生・大学生・一般向けに2019年9月21日に市民科学講演会「どこまでわかっているの？スーパーサイエンティストに聞く最新の宇宙の姿」を山形テルサにて開催します。井岡邦仁教授（京都大学 基礎物理学研究所）と兼村晋哉教授（大阪大学）という JAPAN が誇る超一流の物理学者をお招きし、最新の宇宙・素粒子の研究成果をわかりやすく解説してもらいます。井岡教授のご講演タイトルは「重力波天体からのガンマ線バースト」、兼村教授のご講演タイトルは「素粒子で探る宇宙の成り立ち」です。興味のある方はどなたでも参加可能ですので是非ご参加ください。

### 【井岡邦仁教授のコメント】

アインシュタインが一般相対性理論を提唱して100年目に重力波が初めて直接検出されました。それから、ブラックホールや宇宙最大の爆発であるガンマ線バーストなどについてさまざまなことが分かってきました。一緒に宇宙の謎に迫りましょう。

### 【兼村晋哉教授のコメント】

万物の根源は何か、それらに働く根本的な力は何かという問いは、古代から続く人類のライフワークであり、素粒子物理学のテーマです。ビッグバン宇宙論で素粒子と宇宙がつながりました。たくさんのがわかってきましたが、ニュートリノやヒッグス粒子、暗黒物質などまだまだ謎が残されています。究極ミクロ世界の探検、面白いゾ。

■日時：2019年9月21日（土） 13:00 - 15:40 （開場12:30）

■開場：山形テルサ テルサホール

■対象：一般市民・中学生・高校生・大学生

■入場料：無料

■参加申し込み不要

お問い合わせ

学術研究院 准教授 衛藤 稔（理学）

TEL 023-628-4556 メール meto@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

一般社団法人日本物理学会主催 市民科学講演会

「どこまでわかっているの？」

スーパーサイエンティストに聞く

最新の宇宙の姿」

JAPANが誇る超一流物理学者が最新の宇宙・素粒子の

研究成果をわかりやすく解説してもらいます！

ご興味のある方はどなたでも参加可能ですので是非

ご参加ください。

日時 2019

9.21(土)

13:00-15:40  
(開場12:30)

会場 山形テルサ・テルサホール

〒990-0828 山形市双葉町1-2-3

入場無料

申込不要



井岡 邦仁 教授 ■ 京都大学 基礎物理学研究所  
「重力波天体からのガンマ線バースト」



兼村 晋哉 教授 ■ 大阪大学  
「素粒子で探る宇宙の成り立ち」

お問い合わせ / [public@quark.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:public@quark.kj.yamagata-u.ac.jp) 主催 / 日本物理学会 共催 / 山形大学、NPO法人小さな天文学者の会

後援 / 山形県教育委員会、山形市教育委員会、天童市教育委員会 企画・運営 / 日本物理学会秋季大会実行委員会

<http://jps2019.quark.kj.yamagata-u.ac.jp/edit.php?市民科学講演会>



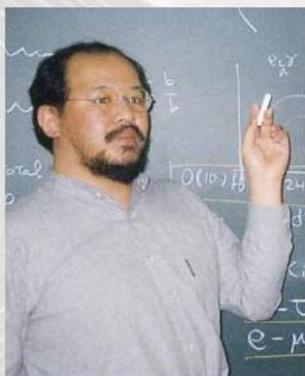
# 「どこまでわかっているの？ スーパーサイエンティストに聞く 最新の宇宙の姿」



## 井岡 邦仁 教授 ■ 京都大学 基礎物理学研究所 「重力波天体からのガンマ線バースト」

「アインシュタインが一般相対性理論を提唱して100年目に重力波が初めて直接検出されました。それから、ブラックホールや宇宙最大の爆発であるガンマ線バーストなどについてさまざまなことが分かってきました。一緒に宇宙の謎に迫りましょう。」

**略歴** 京都大学大学院修了(理学博士)。その後、大阪大学、ペンシルバニア州立大学での博士研究員、京都大学助教、高エネルギー物理学研究所 (KEK) 准教授を経て、京都大学基礎物理学研究所教授。専門は、宇宙物理学。



## 兼村 晋哉 教授 ■ 大阪大学 「素粒子で探る宇宙の成り立ち」

「万物の根源は何か、それらに働く根本的な力は何かという問いは、古代から続く人類のライフワークであり、素粒子物理学のテーマです。ビッグバン宇宙論で素粒子と宇宙がつながりました。たくさんわかってきましたが、ニュートリノやヒッグス粒子、暗黒物質などまだまだ謎が残されています。究極マイクロ世界の探検、面白いゾ。」

**略歴** 大阪大学大学院修了(理学博士)。その後、高エネルギー物理学研究所 (KEK)、カールスルーエ工科大学、ミシガン州立大学等での博士研究員、大阪大学助手、富山大学准教授を経て、大阪大学大学院理学研究科教授。専門は素粒子論、特に素粒子現象論と素粒子論的宇宙論。

日時 2019  
**9.21** (土)  
13:00-15:40  
(開場12:30)

会場 **山形テルサ・テルサホール**  
〒990-0828 山形市双葉町1-2-3

入場無料 申込不要



P: 民間駐車場  
-: 駅からの徒歩ルート



令和元年度

# やまがた夜話

## 「“月山”に学び、地域を知る V」

“月山”に関する地形・景観、植物、歴史民俗などをいろいろな視点から探求して、その魅力を地域の方々に伝えてきた山形大学月山マイスター。

今回で5回目の開催となりますが、皆さんでまた新たな発見をしませんか？

8月28日(水) 「月山の自然はジオパークとしての要件に劣るのか？」

講師:八木 浩司 氏(山形大学・教授)

9月 4日(水) 「大岫峠は待っている」

講師:田中 秀樹 氏(月山マイスター)

9月11日(水) 「飢餓地獄と出羽三山塔」

講師:高野 昌二 氏(月山マイスター)

9月18日(水) 「月山のある風景」

講師:児玉 勝義 氏(月山マイスター)

9月25日(水) 「月山は楽しいー冬から春ー」

講師:佐藤 孝男 氏(月山マイスター)

1つの山に見える、手前が「葉山」で後ろが「月山」  
尾花沢市細野の御堂森・標高1,057mの山頂より田中秀樹氏撮影 (2019.5.5)

※時間は18:30~19:30です。

**会場** ゆうキャンパス・ステーション  
(山形むらきさわビル1階)

**アクセス** 山形駅東口より徒歩1分

**対象** 高校生・学生・一般市民

**お申し込み** チラシ裏面の参加申込書によりFax、郵送、メール等で必ずお申込みください。  
**当日不可**

**入場無料** 定員:50名



主催

大学コンソーシアムやまがた

お申込み・お問合せ

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階  
Tel:023-628-4842 FAX:023-628-4820  
E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



FAX:023-628-4820

大学コンソーシアムやまがた事務局 行き

## やまがた夜話に受講申込みをします。

申込締切日:準備の都合上、夜話前々日までに必ずお申込みください。

当日の受付は行いません。

参加日	参加希望日に☑、又は日付を○で囲んでください。 <input type="checkbox"/> 令和元年 8月28日(水) 講師: 八木 浩司 氏 <input type="checkbox"/> 令和元年 9月 4日(水) 講師: 田中 秀樹 氏 <input type="checkbox"/> 令和元年 9月11日(水) 講師: 高野 昌二 氏 <input type="checkbox"/> 令和元年 9月18日(水) 講師: 児玉 勝義 氏 <input type="checkbox"/> 令和元年 9月25日(水) 講師: 佐藤 孝男 氏 (※時間は18:30~19:30です。)
住所	〒
氏名	
連絡先	TEL
	E-mail
所属	※月山マイスターの方は、この欄に月山MSとお書きください。

・受講申込者が定員を超えた場合は、お断りさせていただく場合がございます。

・この申込書にご記入いただいた情報は、今回の講座を受講するために必要な事務連絡等に使用すると共に、参加者名簿の作成にのみ使用させていただきます。

### 【お申込み・お問合せ先】

大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階

TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820 E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp